

あれこれ

京都ファーマーズマーケット

peace flagプロジェクト主催／基本、第二、第四木曜
開催／@京都左京区「prinz」／10時~15時
7.13(木)、7.27(木)、9.14(木)、9.28(木)
▶8月は夜市になる予定(日程は未定。FBページ
<https://www.facebook.com/kyotofarmersmarket/>
で、ご確認ください)

オーガニック&つながるマーケットしがin三井寺

第3日曜開催(5月は第2日曜開催、8月休み)／
@大津 三井寺／10時~15時／
<http://organicmarketshiga.shiga-saku.net/>
7.16(日)、8月休み、9.17(日)

びわ湖発。未来のセンタク2017キャンペーン / 琵琶湖のせっけん運動40周年記念集会

7月29日(土) 参加無料
12:30 オープン 13:00 スタート
場所: ピアザ淡海・県民交流センター大会議室
主催: 琵琶湖のせっけん運動40周年記念実行委員会
▶「ぐるぐるびわ湖フェス」同時開催! @湖岸の広場

パネルディスカッション

「せっけん運動の40年を受け継ぎ、
未来への展望を語る」

今回は、大先輩とともに、三日月知事を含め、若いメンバー
たちが、「未来のセンタク」をテーマに語り合います。

参加申し込み▶

当集会実行委員会(事務局・碧いびわ湖)0748-46-4551



あまいろだより



I hope
peace.

天色便り
あまいろ探偵団、走る!
手づくり市民メディア
第31号 2017.6.15



あまいろだより(天色便り)第31号
あまいろ探偵団、走る!手づくり市民メディア
特集/I hope peace.
発行日/2017年6月15日
編集/あまいろ探偵団
(綾牧生・岸田知之・北岡七夏・きむきかん・志萱未来・中野和子・藤井朋子・森優子)
表紙タイトルロゴ/岸田知之
発行/特定非営利活動法人碧いびわ湖
~大切なことを他人まかせにしない。自分たちで力をあわせてつくる~
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3番地
TEL0748-46-4551 FAX0748-46-4550
Eメール info@aoibiwako.org
ブログ <http://aoibiwako.shiga-saku.net/>

びわ湖の森を元気にするkikitoペーパーを
使用しています(びわ湖の森の間伐材活用)

暮らしのコラム

火水木は自主保育

森 優子

3月下旬。「ひみつきち」ではオオイヌノフグリ、クローバー、カラスノエンドウ、たんぽぽ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、つくしなどたくさんの草花を見かけることができる。

もうすぐヨモギも姿をあらわすころ。天ぷらにして食べられるのが待ちどおしいなあと思っていたら、カラスノエンドウをかごいっぱい摘み終えた母ちゃんが。その横には米粉となたね油。もしかして天ぷら?カラスノエンドウを?

「そやで一、上のやわらかいとこだけ。たんぽぽもおいしいねーん」と。なんと!!!

ヨモギを待たなくても野草の天ぷらが食べられるなんて。

というわけで、さっそく米粉と少しの水をつけて衣にし、油の中へ。シューワワワという音とともに葉っぱがふわっと広がってあという間に揚がる。

初めて食べたカラスノエンドウの天ぷらは、サクサクで儂くて、なぜかポテトチップスみたいなジャンクな味。

とまらへーん!子どもたちにも好評で揚げるそばからなくなる。すると、「おかわり、つんでくるー」と、女子2人。うんうん、たくさん生えてるもんね。行ってらっしゃーい。

それからは、毎週木曜日のスープの日には天ぷらも加わり、焼きおむすびもして時計ストーブの上は大忙し。火力が弱いとベチャベチャになるから、必死で薪をくべる。

そのうちにヨモギにも出会え、ドクダミの天ぷらも初体験することに(ただし、こればかりは、一口ごとにあの香りがくじゅうに広がり、何度かチャレンジしたけれどおいしいと思えず...。残念すぎる)。

娘と過ごしたくて参加するようになった自主保育。いつの間にか私自身がとても楽しんでる。

寒い日には、ほんの少しの陽射しにほわっと背中がほころんだり、逆に暑い日には通り抜ける風で汗をかいたことに気付いたり。松ぼっくりが幻想的に燃えるさま。足裏に伝わる

土の暖かさと、指の間をすり抜けるたんぽぽのにゆるにゆる。どうしようもなく暑い日に食べるもぎたてトマトの効用。葉っぱの陰に隠れてる冬いちごのかわいらしさと、山に映える野葡萄やカラスウリの美しさ。焼きみかんのぎゅっと濃縮された酸味と甘味に、白菜のホイル焼きのとろける甘さ。どれも外で過ごし続けるからこそその発見と喜び。

娘たちと暮らす中で、手放したのもや我慢することもあるけれど、それ以上に私の世界は思ってもいなかった方へ確実に広がっている。今もおどんと。まさか、カラスノエンドウを食べてるなんて。生まれてきてくれた子どもたちに感謝。一緒に過ごしてくれる仲間へ感謝。

このあまいろだよりが刊行される頃には、わたしたちは水遊びを始めてはるはず。さあ、この夏も真っ黒になって遊びつくすよー。

森 優子 / 二児の母。近江八幡で活動する自主保育「ひとつぶてんと園」に参加。パンが好き。ご飯も好き。食べるの大好き。

あまいろ CINEMA NOTE

Vol.1

「ナナイロつーしん映画部」のななつです。映画ばかり観る日々です。ときどき、映画の紹介をしまーす。

『女はみんな生きている』

原題/『Chaos』(カオス)
2001年/112分/フランス/監督 コリーヌ・セロー/
出演 ヴァンサン・ランドン カトリーヌ・フロラシダ・ブルクニ

『美しき緑の星』を作ったフランスの監督コリーヌ・セローの作品です。

平凡な家庭の主婦エレーヌが、売春組織に追われる娼婦ノエミに出会い、平凡な生活を捨ててノエミと共に人生を変えていく様子を描いたサスペンスコメディ。

「お前を愛しているから」と男に言われて、あなたのためにと思ってやってきたのに、いつのまにか、実は思うままに利用されているのです。妻も母も娼婦もー。

しかし、女は、大切なものに気がついたとき、行動します。あきらめず、したたかに、自分の行くべき道を行く。

ノエミを暴力と薬で従属させ、搾取していた男が、仲間を銃で撃たれて死ぬ瞬間、ノエミと目が合う。コリーヌ・セロー監督は、そういう仕返しをきっちりします。「映画」としての醍醐味をちゃんと押さえていて、小気味が良い。「映画」だから語れることがいっぱいあった作品。見事です。

【ブログ】ナナイロつーしん映画部@和室上映会
<https://nanatsuweb.wordpress.com/>



